



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)4月25日号 No.1824

目次

■ 2019年のロシア・NIS諸国の経済(下)	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2020年5月号のご紹介	10
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 11
■ 経済産業省より新型コロナウイルス感染症対策についてのお知らせ	42
■ トピックス	43
日ロ共同経済活動拠点の養殖関連施設が完成	／43
ロシア・NIS諸国における新型コロナウイルス関連のニュース	／43

2019年のロシア・NIS諸国の経済(下)

はじめに

前回に引き続き、CIS統計委員会および各国統計局発表のデータ等に基づき、2019年の経済実績を中心に、NIS諸国の最新の経済情勢についてのレビューを行う。

今回は、全13カ国の主要経済指標を表にまとめて掲載するとともに、ロシア・NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けした。今号では中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)、南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)、モンゴルを扱う。

カザフスタン： 新大統領の無難な船出に、迫る原油安の大波

2019年3月19日、ソ連末期より約30年にわたりその座にあったナザルバエフ大統領が辞意を表明、憲法の定めによりカシムジョマルト・トカエフ上院議長が後任に就任、6月9日の繰り上げ選挙でそのまま第2代大統領に選出された。かつて外相、首相等を歴任した同氏はナザルバエフ氏に最も忠実な側近の1人として知られる。また、前大統領は「初代大統領～国民の指導者・エルバシ」としての終身特権に加え、与党「ヌル・オタン」党首、安全保障会議議長等、引き続きいくつもの要職にあることから、新大統領の就任は「政権交代」よりむしろ前大統領による「院政の始まり」と理解する向きが多い。

2018年10月、同年2度目となる異例の教書演説において、ナザルバエフ大統領は従来の構造改革に基づく経済発展から、社会的セーフティネット強化と生活の質的向上を目指す社会政策重視へと、政策の軸足を移した。約1年後の2019年9月、トカエフ新大統領が行った初めての教書演説